

『子どもに本を届ける人のための講座』

【紹介された本の一部】

科学の本っておもしろい

～子どもと楽しむ科学と科学の本～

講師 坂口美佳子氏

【プログラム内容】

- 10：00 中央図書館館外奉仕グループ課長  
稲葉理香 挨拶  
宇都宮子どもの本連絡会会長  
佐藤麻矢 挨拶  
講師 坂口美佳子氏プロフィール紹介  
宇宙、はやぶさ、アポロ計画のお話
- 10：15 真空容器を使った実験
- 10：30 月齢早見盤作成  
宇宙、星、原子、元素などの絵本紹介
- 11：00 科学と科学の本について説明
- 11：15 科学遊びについてのお話
- 11：30 分光器、エコーマイクなどの作成
- 11：50 生物、数、花火、光などの絵本紹介
- 12：00 終了

| 題名            | 作者     | 出版社     |
|---------------|--------|---------|
| ぼくのいまいるところ    | かこさとし  | 童心社     |
| 惑星 MAPS       | 宇宙兄さんズ | 誠文堂新光社  |
| もしも宇宙でくらしたら   | 山本省三   | WAVE 出版 |
| 月へ            | フロッカ   | 偕成社     |
| 土のコレクション      | 栗田宏一   | フレーベル館  |
| しごとばもつと       | 鈴木のりたけ | ブロンズ新社  |
| りんごだんだん       | 小川忠博   | あすなる書房  |
| がろあむし         | 館野鴻    | 偕成社     |
| 0 から 100 までの数 | 山崎直美   | さ・え・ら書房 |
| はなび           | 秋山とも子  | 教育画劇    |
| 光の旅 かげの旅      | ジョナス   | 評論社     |
| 月をみよう         | 藤井旭    | あかね書房   |

軽

快な語り口で坂口先生の講座が始まった。地球を直径 12.7cm(1 億分の 1)の大きさの青い球に見立て、月までの距離や太陽の大きさはどれくらいかと聞き手を惹きつける。瞬く間に宇宙へ飛び立ったようだった。普段は子どもたちの前で絵本を読んでいるボランティアの方々は、目を輝かせて子どものようにお話を聞いていた。

真空容器を使い、お菓子の袋を入れて真空になった時にどうなるのかという実験をした。初めに仮説を立て、実験での結果を固唾を飲んで見守った。ポンという音と共にお菓子の袋が開いた時は、どよめきが起こった。なんと楽しき実験。

次は月齢早見盤を作成し、今日の月齢を調べた。中学 3 年生までの誕生日の月齢がすぐに調べられるとのことだった。宇宙、星、原子、元素にまつわる絵本を多数紹介していただいた。また、科学と科学の本についての丁寧な説明をしていただいた。そして、科学遊びについてのお話もあった。あそびの中で科学のおもしろさ、楽しさを体験して共感する。実験とセットで本を読むと子どもの興味を惹きつけるとおっしゃっていた。子どもの興味にあった本を届けるために、子どものつぶやきに耳を傾けることが大切と教えていただいた。

お話の後、分光器やエコーマイクなどを作成した。分光器は、トイレトペーパーの芯に黒色画用紙を両側に貼りつけた物で、針で穴を空けて光に向かって中を覗くとそこには虹色の光の模様が散りばめられている。家にある材料でこんなにも美しい光が見えるのだから、子どもたちにもぜひ見てもらいたいと感じた。

また、エコーマイクを作って周りの人たちと話してみた。プラスチック製のコップとコップをステンレス製のバネでつなげただけの物だ。とても驚いた。エコーが耳の内側でグワングワン鳴り響いている。驚きの連続で、実体験は筆舌に尽くし難い。こうした実験後に本の紹介なのだから、興味を持つこと間違いなし。この科学の楽しさを子どもたちと分かち合いたいと強く感じた。

実りある 2 時間があったという間に過ぎた。終了後には、科学絵本を吟味している人々がたくさんいた。参加者みな満足そうな笑顔で帰路についた。この講座を通して科学に興味を持ち、気負わずに、好きなものから 1 冊でも子どもたちに届けることができるようになれば幸いだ。今後のボランティア活動の参考になればと思う。